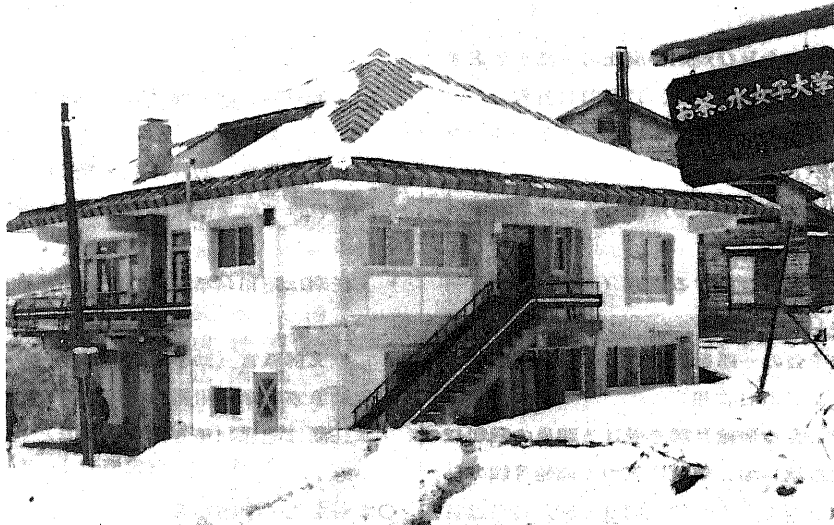


お茶の水女子大学学報

第 32 号

お茶の水女子大学庶務課発行



志賀高原体育運動場
合宿研修センター管理棟

目 次

関係法令	1
人事	2
学事	5
通知	9
日誌(抄)	10
諸報	11

関係法令

【法 律】

○一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律 (法律第 105 号, 12月21日官報)

【政 令】

○国家公務員共済組合法施行令の一部を改正する政令 (政令第 334 号, 12月13日官報)

【省 令】

○日本銀行国庫金取扱規程等の一部を改正する省令 (大蔵省令第55号, 11月1日官報)

【府 令】

○人事記録の記載事項等に関する総理府令の一部を改正する総理府令 (総理府令第55号, 12月5日官報)

【規 則】

○現行の法律, 命令及び規則の廃止の一部を改正する規則 (人事院規則 1-4, 11月6日官報)

○職員の任免の一部を改正する規則 (人事院規則 8-12, 11月6日官報)

○俸給等の支給の一部を改正する規則 (人事院規則 9-7, 11月6日官報)

○初任給, 昇格, 昇給等の基準の一部を改正する規則 (人事院規則 9-8, 11月6日官報)

○期末手当及び勤勉手当の一部を改正する規則 (人事院規則 9-40, 11月6日官報)

- 職員的身分保障の一部を改正する規則（人事院規則11-4, 11月6日官報）
 - 給与簿の一部を改正する規則（人事院規則9-5, 12月7日官報）
 - 非常勤職員の勤務時間及び休暇の一部を改正する規則（人事院規則15-4, 2月7日官報）
 - 休暇の一部を改正する規則（人事院規則15-6, 12月7日官報）
 - 職員の任免の一部を改正する規則（人事院規則8-12, 12月16日官報）
 - 現行の法律、命令及び規則の廃止の一部を改正する規則（人事院規則1-4, 12月21日官報）
 - 宿日直手当の一部を改正する規則（人事院規則9-15, 12月21日官報）
 - 暫定手当の一部を改正する規則（人事院規則9-22, 12月21日官報）
 - 通勤手当の一部を改正する規則（人事院規則9-24, 12月21日官報）
 - 初任給調整手当の一部を改正する規則（人事院規則9-34, 12月21日官報）
 - 最高号俸をこえる俸給月額を受ける職員の昭和42年改正法附則第14項の規程に基づく俸給月額の一部を改正する規則（人事院規則9-50, 12月21日官報）
 - 最高号俸等を受ける職員の俸給の切替え等に関する規則（人事院規則9-51, 12月21日官報）
 - 行政職俸給表（一）の八等級の官職等への任用候補者名簿による職員の任用に関する特例等の一部を改正する規則（人事院規則8-13, 12月28日官報）
- 【訓 令】
- 普通財産取扱規則の一部を改正する訓令（大蔵省訓令第14号, 12月2日官報）
 - 人事に関する権限の委任等に関する規程の一部を改正する訓令（文部省訓令第37号, 12月11日官報）

人 事

○人事異動

◎昭和43年12月31日

文部事務官（庶務課） 若村 千代
辞職を承認する

◎昭和44年1月1日

文部教官（教授文教育学部） 波多野完治
お茶の水女子大学長に昇任させる
任期は昭和47年12月31日までとする
評議員に併任する
任期は昭和47年12月31日までとする

文部教官（お茶の水女子大学長）
藤田 健治
昭和43年12月31日限り任期満了により退職した

吉田 理子
文部教官（助手理学部）に採用する

文部教官（助教授家政学部） 中谷 陽一
助教授家政学部附属食物化学研究施設に併任する
任期は昭和44年3月31日までとする

文部教官（助手家政学部） 本間 清一
助手家政学部附属食物化学研究施設に併任する
任期は昭和44年3月31日までとする

○学科主任・学内委員

◎昭和43年12月18日

教 授 井本 農一
施設計画委員会委員を命ずる
任期は昭和45年12月17日までとする

教 授 吉田 昇
施設計画委員会委員を免ずる

◎昭和44年1月1日

教 授 小口 忠彦
教育学科教育学専攻主任を命ずる

教 授 吉田 昇
教育学科教育学専攻主任を免ずる

教 授 亀谷 俊司
数学科主任を命ずる

教 授 伊関兼四郎
数学科主任を免ずる

○非常勤講師

発年 月 日	令日	異動種目	氏 名	所 属	職 名	任期又は任用 予定期間の終期	本 務 そ の 他
43. 10. 21		採 用	秋月 竜 珉	文 哲	講 師	44. 3. 31	
43. 11. 1		併 任	園田 恭 一	〃	〃	〃	東大助教授
43. 10. 21		〃	有末 武 夫	文 地	〃	〃	群馬大 〃
〃		採 用	岡山 俊 雄	〃	〃	〃	明大教授
〃		併 任	竹内 啓 一	〃	〃	〃	一橋大講師
〃		〃	市川 正 巳	〃	〃	〃	東教大助教授
〃		〃	鈴木 登 美	文 国	〃	〃	都立小山台高校教諭
〃		採 用	木藤 才 藏	〃	〃	〃	日本女子大教授
〃		〃	今村 与 志	文 中	英	〃	都立大助教授
〃		併 任	高橋 康 也	文 英	〃	〃	東大 〃
〃		採 用	大橋 吉之輔	〃	〃	〃	慶大教授
〃		併 任	永野 重 史	文 教	〃	〃	国立教育研究所
〃		採 用	中野 照 海	〃	〃	〃	国際キリスト教大助教授
〃		〃	一番ヶ瀬 康子	〃	〃	〃	日本女子大教授
〃		併 任	山内 太 郎	〃	〃	〃	東大助教授
〃		〃	菅原 礼	文 体	〃	〃	東教大 〃
〃		採 用	林 麟	〃	〃	〃	神奈川歯科大教授
〃		併 任	鈴木 清	〃	〃	〃	東教大教授
〃		採 用	磯村 英 一	〃	〃	〃	東洋大教授
〃		〃	広岡 九 一	文 音	〃	〃	
〃		〃	小島 美 子	〃	〃	〃	
〃		〃	宇野 健 吾	文 共	〃	〃	都立大助教授
〃		任用更新	千野 栄 一	〃	〃	〃	
〃		併 任	栗原 成 郎	〃	〃	〃	東大講師
43. 9. 1		採 用	鈴木 忍	〃	〃	〃	国際学友会職員
43. 11. 30		〃	蟻山 政 道	〃	〃	43. 12. 31	
43. 10. 21		〃	高木 きよ子	〃	〃	44. 3. 31	スタンフォード大学日本研究所員
〃		併 任	寺田 和 夫	〃	〃	〃	東大助教授
〃		〃	福島 正 俊	理 数	〃	〃	東教大 〃
〃		〃	前原 昭 二	〃	〃	〃	〃 教授
〃		〃	藤田 長 子	理 物	〃	〃	東大講師
〃		〃	高野 敬	〃	〃	〃	〃 助手
〃		採 用	池本 義 夫	〃	〃	〃	実践女子大教授
〃		〃	荒川 秀 俊	〃	〃	〃	東海大教授
〃		併 任	有山 正 孝	〃	〃	〃	電通大助教授
〃		〃	藤田 純 一	〃	〃	〃	東大 〃
〃		〃	小野 周	〃	〃	〃	〃 教授
〃		〃	品田 正 樹	〃	〃	〃	電通大助教授
43. 11. 15		採 用	岡 小 天	理 物	〃	〃	都立大教授
〃		併 任	高柳 和 夫	〃	〃	〃	東大 〃
〃		〃	安藤 良 夫	〃	〃	〃	〃 〃
〃		〃	寺沢 徳 雄	〃	〃	〃	〃 助教授
44. 1. 1		採 用	山田 勝 美	〃	〃	〃	早大 〃
43. 10. 21		併 任	野田 春 彦	理 化	〃	〃	東大 〃
〃		〃	坪村 宏	〃	〃	〃	阪大 〃
〃		〃	熊野 谿 徒	〃	〃	〃	東大 〃
〃		〃	曾根 興 三	〃	〃	〃	静岡大教授
〃		〃	野村 祐 次	〃	〃	〃	東大 〃
〃		〃	柿沢 寛	〃	〃	〃	東教大助教授
〃		採 用	佐竹 一 夫	〃	〃	〃	都立大教授

発 年 月 日	異動種目	氏 名	所 属	職 名	任期又は任用 予定期間の終期	本 務 そ の 他
43. 10. 21	併 任	原 一 郎	理 化	講 師	44. 3. 31	東医歯大教授
〃	採 用	浦 本 昌 紀	理 生	〃	〃	山階鳥類研究所
〃	併 任	井 上 隆 吉	〃	〃	〃	埼玉大教授
43. 11. 19	〃	大 倉 興 司	〃	〃	〃	東医歯大助教授
43. 10. 21	〃	仲 尾 善 雄	〃	〃	〃	科学技術庁
〃	〃	市 村 俊 英	〃	〃	〃	東教大助教授
44. 1. 1	採 用	串 田 弘	〃	〃	〃	慶大講師
43. 10. 21	併 任	森 田 宗 一	家 児	〃	〃	東京家庭裁判所
〃	採 用	武 藤 静 子	〃	〃	〃	日本女子大教授
〃	〃	宮 崎 叶	〃	〃	〃	日本総合愛育研究所
〃	任用更新	宮 島 敏	〃	〃	〃	東邦音楽短大助教授
〃	〃	小 泉 三 枝 子	〃	〃	〃	
〃	〃	森 田 恵 子	〃	〃	〃	
〃	併 任	藤 卷 正 生	家 食	〃	〃	東大教授
〃	採 用	石 川 松 太 郎	〃	〃	〃	和洋女子大教授
〃	〃	寺 元 芳 子	〃	〃	〃	〃 助教授
〃	併 任	山 田 浩 一	〃	〃	〃	東大教授
〃	〃	河 端 俊 治	〃	〃	〃	国立予防衛生研究所
〃	〃	小 林 彰 夫	〃	〃	〃	東北大助教授
〃	採 用	岡 田 口 玄 一	家 被	〃	〃	青山学院大教授
〃	併 任	北 原 三 郎	〃	〃	〃	一橋大教授
〃	〃	稻 葉 ナ ミ	家 家	〃	〃	埼玉大 〃
〃	〃	金 子 光	〃	〃	〃	東大助教授

○非常勤職員

発 年 月 日	異動種目	氏 名	所 属	職 名	任期又は任用 予定期間の終期	本 務 そ の 他
43. 10. 15	採 用	高 浪 志 げ る	文 英	事務補佐員	43. 10. 25	
43. 10. 31	退 職	永 井 淑 子	家 被	教務補佐員	44. 3. 31	
〃	〃	渡 辺 由 美	附 高	見 習 員	44. 3. 24	
43. 11. 1	採 用	加 納 昌 子	文 英	事務補佐員	44. 3. 31	
〃	〃	横 塚 信 五 郎	施 設 課	臨時用務員	43. 11. 30	
〃	〃	菅 野 正 子	〃	〃	〃	
〃	〃	鈴 木 芙 佐 子	理 物	教務補佐員	44. 3. 31	
43. 11. 7	〃	森 明 美	理 事	見 習 員	44. 3. 24	
43. 11. 11	〃	江 波 諄 子	家 児	技術補佐員	44. 2. 28	
43. 11. 15	〃	大 梶 優 子	附 幼	事務補佐員	43. 12. 13	
〃	〃	武 藤 安 子	〃	〃	〃	
43. 11. 18	〃	佐 藤 英 一	庶 務 課	〃	44. 3. 24	
〃	〃	安 食 繁 秀	施 設 課	技能補佐員	44. 3. 31	
〃	〃	斉 藤 清 一	〃	臨時用務員	〃	
43. 11. 25	〃	内 田 ヨ シ ミ	附 図	事務補佐員	44. 3. 24	
43. 11. 30	退 職	横 山 幸 子	文 教	教務補佐員	44. 3. 31	
〃	〃	沢 野 靖 子	家 被	〃	〃	
〃	〃	石 附 美 恵	〃	技術補佐員	〃	
43. 12. 5	採 用	宮 本 弘	理 数	事務補佐員	43. 12. 28	
43. 12. 16	採 用	小 林 一 二 三	会 計 課	臨時用務員	44. 3. 31	
43. 12. 20	退 職	千 田 節 子	学 生 課	見 習 員	44. 3. 24	
43. 12. 25	採 用	小 川 恵 子	家 児	事務補佐員	44. 1. 7	

発令年月日	異動種目	氏名	所属	職名	任期又は任用予定期間の終期	本務その他
43. 12. 31	退職	吉田 理子	理数	事務補佐員	44. 3. 24	
44. 1. 6	採用	野本富久江	会計課	〃	44. 3. 31	
〃	〃	石野 康子	学生課	見習員	44. 3. 24	
44. 1. 8	〃	永井 文子	庶務課	事務補佐員	44. 3. 31	

学 事

○昭和44年度お茶の水女子大学学生募集要項(抄)

1 募集学科および人員

文 教 育 学 部			理 学 部	家 政 学 部
哲 学 科	史 学 科	地 理 学 科	数 学 科	児 童 学 科
20	20	15	約 30	30
文 学 科			物 理 学 科	食 物 学 科
国文学・国語学専攻	中国文学・中国語学専攻	英文学・英語学専攻	約 25	27
30	10	30	化 学 科	被 服 学 科
教 育 学 科			約 25	30
教育学専攻	体育学専攻	音楽教育学専攻	生 物 学 科	家 庭 経 営 学 科
28	15	12	約 25	28
計 180			計 約105	計 115

2 出願期間 2月1日(土)から2月10日(月)まで

3 学力検査

区分	国 語	社 会	数 学	理 科	外 国 語
文 教 育 学 部	現代国語 } 古典乙Ⅰ } 古典乙Ⅱ } の範囲	※倫理・社会 } ※政治・経済 } 日本史 } 世界史B } 地理B } 選択することはできない。	数学Ⅰ } 数学ⅡB } の範囲	物理B } 化学B } 生 物 } の中から 1科目選択。	英語B } ドイツ語 } フランス語 } の中から 1科目選択。
理 学 部	現代国語 } 古典乙Ⅰ } の範囲	倫理・社会 } 政治・経済 } 日本史 } 世界史B } 地理B } の中から 1科目選択。	数学Ⅰ } 数学ⅡB } 数学Ⅲ } の範囲	物理B(注) } 化学B } 生 物 } の中から 2科目選択。	上に同じ
家 政 学 部	A コ ー ス 上に同じ	※倫理・社会 } ※政治・経済 } 日本史 } 世界史B } 地理B } ※家庭一般 } 選択することはできない。	数学Ⅰ } 数学ⅡB } の範囲	上に同じ	上に同じ
	B コ ー ス 上に同じ	倫理・社会 } 政治・経済 } 日本史 } 世界史B } 地理B } の中から 1科目選択	数学Ⅰ } 数学ⅡB } 数学Ⅲ } の範囲	上に同じ	上に同じ

(注) 物理学科志望者(第一志望・第二志望とも)は理科受験科目中に物理Bを含めなければならない。

(1) **実技検査** 音楽教育学専攻志望者（第一志望・第二志望とも）に対して次のとおり実技検査を行なう。

1. 楽典（簡易な旋律の聴音書取を含む。）
2. 声楽
 - (1) 新曲
 - (2) コールユーブンゲン第1巻（全訳による）の中から当日指定
 - (3) イタリアンソング（下記の中から当日指定・原語で歌うこと。）

① Caro mio ben（Giordani 作曲）

② Sento nel core（Scarlatti 作曲）

③ Nina（Pergolesi 作曲）

3. 器楽 ピアノ（ソナタ程度の任意の一曲）

(2) **附記** 体育学専攻志望者（第一志望・第二志望とも）に対しては、3月5日（水）13:00から16:00まで**身体適性検査**を行なう。その際運動のできる服装を用意すること。

4 学力検査日時割

		文教育学部	理 学 部	家 政 学 部	
				A コー ス	B コー ス
3 / 3 (月)	国 語	10:00~11:30	左に同じ	左に同じ	左に同じ
	数 学	13:00~14:30	13:00~16:00	13:00~14:30	13:00~16:00
3 / 4 (火)	外 国 語	10:00~11:30	左に同じ	左に同じ	左に同じ
	社 会	13:00~16:00	13:00~14:30	13:00~16:00	13:00~14:30
3 / 5 (水)	理 科	10:00~11:30	10:00~13:00	左に同じ	左に同じ
	実技(音楽)	12:30~16:00			

5. **合格発表** 3月17日（月）の予定。（学内に掲示するとともに本人にも通知する。）

○ 昭和44年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科（修士課程）学生募集要項（抄）

1. 専攻名および募集人員

専 攻 名	募集人員	専 攻 名	募集人員
哲 学 専 攻	6	日 本 文 学 専 攻	8
史学専攻 { 日本史学 東洋史学 西洋史学	8	中 国 文 学 専 攻	4
		英 文 学 専 攻	8
地 理 学 専 攻	6	教 育 学 専 攻	12

2. 出願期日

2月1日（土）から2月20日（木）まで

3. 選考期日・日時割

- (1) 選考期日 44年2月24日（月）および同25日（火）
- (2) 筆記試験・口述試験

専攻名		筆記試験科目 (2月24日)		口述試験 (2月25日)	備考		
		外国語	専門科目				
哲学専攻		10:00 ~ 11:30 英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。 ただし、中国文学専攻志望者が中国語を、英文学専攻志望者が英語を選択することはできない。	13:00 ~ 15:00 哲学および倫理学	10:00~	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること		
史学専攻	日本史学		13:00 ~ 15:00 日本史学	10:00~			
	東洋史学		東洋史学				
	西洋史学		西洋史学				
地理学専攻				13:00 ~ 15:00 地理学		10:00~	
日本文学専攻				13:00 ~ 15:00 国語学および国文学		10:00~	
中国文学専攻				13:00 ~ 15:00 中国語学および中国文学		10:00~	
英文学専攻			13:00 ~ 16:00 英語・英語学および英米文学	10:00~			
教育学専攻			13:00 ~ 16:00 教育史・教育心理学のうち、いずれか1科目選択論文	10:00~			

4. 合格者発表

合格した者には昭和44年2月28日(金)午後、本人に通知すると共に学内にその氏名を掲示する。

○昭和44年度お茶の水女子大学専攻科学生募集要項 (抄)

1. 専攻科名および募集人員

専攻科名	専攻名	募集人員	備考
文教育学専攻科	体育学・音楽学専攻	若干名	

2. 出願期日

(1) 2月1日(土)から2月20(木)まで

3. 選考期日・日時割

学科試験・口述試験(このほか実技を行なうことがある)2月24日(月)

専攻別		日時	
		10:00~11:30 外国語	13:00~15:00 学科筆記試験
体育学・音楽学専攻	体育学を主とするもの	英・独・仏の内1か国語	体育学・生理衛生学
	音楽学を主とするもの	〃	音楽学・音楽教育学

4. 合格者発表

2月28日(金)午後本学内に掲示するとともに、本人に通知する。

○昭和43年度奨学金について

昭和43年度奨学金受奨者が下記のとおり決定し、12月17日(火)、本館学長室で授与式が行なわれた。

保井, 黒田奨学金受賞者

所属・氏名	研究題目
数学科 講師 小山 敏子	Topological Methods in Abelian Groups
物理学科 助手 大島 裕子	1. 鉛直平行平板の間の熱対流, 層流及乱流での実験的研究 2. 宇宙船の温度設計について

成田奨学金受賞者

所属・氏名	研究題目
被服学科 研究生 安部 美智子	服飾造形の理念
被服学科 研究生 高部 和子	学校教育における衣服の型紙寸法に関する研究

辻村, 木原奨学金受賞者

所属・氏名	研究題目
食物学科 研究生 吉田 レイ	小麦粉の膨化調理に関する研究

○昭和43年度後期教務関係行事予定 (1月-3月)

月日	曜	大 学	附属学校
1月8日	水	授業開始	高・中・小・幼 始業式
18日 20日	土 月		小学校入学願書 受付
21日	火		小学校第一次検 定(抽せん)
22日 23日	水 木		小学校第二次検 定
24日	金		小学校合格者発 表
28日 30日	火 木		高校・幼稚園入 学願書受付
30日 2月1日	木 土		中学校入学願書 受付
1月31日	金		44年度講義内容 提出メ切
2月1日 10日	土 月	学部入学願書受 付	
1日 20日	土 木	大学院人文科学 研究科専攻科入 学願書受付	
4日	火		幼稚園第一次検 定(抽せん)
4日 および 7日 13日	火 金 土	卒業(修了)予定 者試験	

月日	曜	大 学	附属学校
2月5日 7日	水 金		幼稚園第二次検 定
8日	土		幼稚園合格者発 表
9日	日		中学第一次考査
10日	月		中学第一次合格 者発表
12日	水		中学第二次考査
14日	金		中学第二次合格 者発表
17日	月	卒業(修了)予定 者成績提出	
18日	火		高校入試
20日 26日	木 水	第三年次以下試 験	
22日	土		高校合格者発表
24日	月	専攻科入試	
24日 25日	月 火	大学院人文科学 研究科入試	
27日	木	卒業(修了)予定 者判定会議	
28日	金	大学院人文科学 研究科・専攻科 合格者発表 教員免許状申請 書類審査	

月日	曜	大 学	附属学校
3月1日 10日	土 月	大学院理学研究 科第二次入学願 書受付	
3日 5日	月 水	学部入試	
10日 18日	月 火	大学院家政学研 究科(児・食)第 二次入学願書受 付	
10日	月	教員免許状申請 書類提出(都庁)	
15日	土		中学卒業式
17日	月	学部合格者発表	

月日	曜	大 学	附属学校
18日	火	大学院理学研究 科第二次入試 (化学専攻は18・ 19の両日)	
19日	水		幼稚園卒業式
20日	木		高校卒業式
23日	日	卒業・修了式	
24日	月	大学院家政学研 究科(児・食)第 二次入試	小学校卒業式
25日	火	大学院理学研究 科第二次合格者 発表	

通 知

○昭和44年度科学研究費補助金の公募について必要書類等一覧表及学内メ切

研究の種類	学内締切	必 要 書 類	提出部数
がん特別研究 特 定 研 究	1月25日(土)	がん特別研究・特定研究計画調書 { 甲 乙 (研究代表者または研究担当者作成) 承諾書(がん特別研究1)・特定研究1の 場合は、研究代表者と異なる機関に所 属する研究分担者のみ) (研究代表者作成) がん特別研究・特定研究計画調書一覧 (研究機関代表者作成)	2 1 左記括弧書き の研究者ごと に 1
一 般 研 究		一 般 研 究 計 画 調 書 一 般 研 究 カ ー ド 整 理 票 (以上研究担当者作成) 一 般 研 究 計 画 調 書 一 覧 (研究機関代表者作成)	3 1 3 2
奨 励 研 究 (A)		奨 励 研 究 (A) 計 画 調 書 整 理 票 (以上研究担当者作成) 奨 励 研 究 (A) 計 画 調 書 一 覧 (研究機関代表者作成)	3 3 2
総 合 研 究 (A), (B)	2月4日(火)	総 合 研 究 (A), (B) 計 画 調 書 承 諾 書 総 合 研 究 (A), (B) カ ー ド 整 理 票 (以上研究代表者作成) 総 合 研 究 (A), (B) 計 画 調 書 一 覧 (研究機関長作成)	3 研究者ごとに 1 1 3 2
試 験 研 究		試 験 研 究 計 画 調 書 承 諾 書 (試験研究1の場合は、研究代表者 と異なる研究分担者のみ) 試 験 研 究 カ ー ド 整 理 票 (以上研究代表者作成) 試 験 研 究 計 画 調 書 一 覧 (研究機関長作成)	3 左記括弧書き の研究者ごと に 1 1 3 2

種 類	学 内 締 切	必 要 書 類	提 出 部 数
研究成果 刊 行 費	1 月 25 日 (土)	学 術 定 期 刊 行 物 刊 行 計 画 調 書 出 版 経 費 見 積 書 整 理 力 一 下 最 新 刊 の 学 術 定 期 刊 行 物 会 則 ・ 規 約 等 (学会等の代表者作成)	1 1 1 1 1
		学 行 図 書 刊 行 計 画 調 書 出 版 経 費 見 積 書 整 理 力 一 下 原 稿 の 見 本 (原稿用紙 4, 5 枚程度) (著作権者作成)	3 1 1 1
		二 次 刊 行 物 刊 行 計 画 調 書 出 版 経 費 見 積 書 整 理 力 一 下 最 新 刊 の 二 次 刊 行 物 ま た は 原 稿 の 見 本 (原稿用紙 4, 5 枚程度) 会 則 ・ 規 約 等 (二次刊行物の刊行者作成)	1 1 1 1 1

日 誌 (抄)

11月 1 日 (金) 学寮委員会, 学寮協議会
 4 日 (月) 学生委員会, 学生連絡協議会, 学割監査 (東鉄管理局)
 5 日 (火) 授業料免除選考委員会, 理学部計画委員会
 6 日 (水) 国立大学学生部長会議 (於東京農
 7 日 (木) 林年金金庫)
 7 日 (木) 体育祭
 8 日 (金) 図書館運営委員会, 昭和44年度日本育英会大学院予約奨学生選考会議, 流感予防接種 (第 1 回)
 9 日 (土) 学生委員会, 学生連絡協議会
 11 日 (月) 学寮委員会, 学寮協議会, 学生委員会, 国立17大学理学部部長会議
 12 日 (火) 百年史準備委員会, 第47回東京地区国公立大学厚生補導部課長懇談会 (於如水会館)
 13 日 (水) 各学部教授会, 学長候補者選考第三次選挙, 協議会
 15 日 (金) 流感予防接種 (第 2 回)
 18 日 (月) 学生委員会
 20 日 (水) 附属学校運営委員会, 学生部長選考委員会
 22 日 (金) 永年勤続者表彰式, 日本育英会一般奨学生 (1 年 2 次) 選考会議

11月 22 日 (金) 徽音祭
 24 日 (日)]
 25 日 (月) 学生委員会, 学寮委員会, 学寮協議会
 26 日 (火) 大学図書館視察委員実地視察
 27 日 (水) 評議会, 学生部長第一次選挙, 学生部長選考委員会
 28 日 (木) 奨学金合同審査委員会
 29 日 (金) 創立記念日
 12月 2 日 (月) 学生委員会, 学生連絡協議会
 4 日 (水) 各学部教授会, 学生部長第二次選挙, 学生部長選考委員会, 厚生補導連絡懇談会
 9 日 (月) 学寮委員会, 学寮協議会
 10 日 (火) 食化研運営委員会
 11 日 (水) 評議会, 附属小学校長および附属幼稚園長選考委員会, 学生委員会, 定例学生大会, 昭和44年 3 月卒業了予定の日本育英会奨学生に対する奨学金返還説明会
 16 日 (月) 学生委員会
 17 日 (火) 奨学金授与式, 予算委員会, 服務制度説明会 (於金属材料)
 18 日 (水) 藤田学長退任の挨拶, 各学部教授会, 理学研究科委員会, 学生部長第三次選挙
 19 日 (木) 第42回国立大学協会総会
 21 日 (土) 給与法説明会 (於科博)
 24 日 (火) 学寮委員会, 学寮協議会, 附属

高・中・小・幼終業式

12月25日(水) 大学冬期休業

26日(木) 附属小学校長および附属幼稚園長
選考委員会

28日(土) ご用納め

諸 報

○海外出張

文教育学部助教授 藤永 保

沖縄住民の意識構造とコミュニケーション行動
に関する研究調査のため、昭和43年12月20日沖縄
へ出張した。

○帰 国

文教育学部助手 川原 ゆり

オーストラリアにおける食物・食習慣・栄養状
態および体力に関する調査研究のため出張中のと
ころ、昭和43年11月16日帰国した。

文教育学部教授 波多野 完治

沖縄放送教育の現状視察並びに研究のため出張
中のところ、昭和43年12月13日帰国した。

文教育学部助教授 正井 泰夫

ニューデリーにて開催された国際地理学連合第
12回総会及び第21回国際地理学会議に出席並びに
地理学研究のためインド、ネパールへ出張中のと
ころ、昭和43年12月18日帰国した。

文教育学部助教授 式 正英

ニューデリーにて開催された国際地理学連合第
12回総会及び第21回国際地理学会議に出席並びに
地理学研究のためインドへ出張中のところ、昭和43
年12月19日帰国した。

文教育学部教授 渡辺 光

ニューデリーにおいて開催された国際地理学連
合第12回総会に出席並びに地理学研究上の諸問題
について連絡協議等のためインド、タイ、香港の
各国へ出張中のところ、昭和43年12月19日帰国し
た。

○研修旅行

文教育学部附属高等学校教諭

大和田 順子

東南アジアにおける地理の研究視察のため、中
華民国、フィリピン、シンガポール、マレーシア、
タイ、カンボジア、香港の各国へ出張した。

期間は昭和43年12月25日から昭和44年1月7日
まで。

○藤田学長の退任の挨拶について

任期満了により、昭和43年12月31日で退官され
ることとなった、藤田学長の退任の挨拶が、12月
18日(火)正午から、教職員・学生多数出席のもと、
本学講堂で行なわれた。

○大山寮増築工事

昭和43年12月完成

鉄筋コンクリート4階建一部平屋建

延面積 2,894.61m²

○志賀高原体育運動場合宿研修センター管理棟仕上 げその他工事

昭和43年12月完成

鉄筋コンクリート2階建

延面積 329.89m²

○休暇の取り扱いについて

このたび人事院規則の一部改正にともない、従
来認められていなかった年次休暇の繰越しが、10
日を限度として、翌年に限り認められることにな
りました。

昭和43年12月14日(昭和44年1月1日施行)か
ら適用になりましたので、昭和43年の年次休暇の
残日数(10日以内、ただし1日未満の端数がある
ときはこれを切り捨てた日数)は昭和44年に繰越
されます。

○事務室の移転について

学生部の事務室が下記のとおり移転しました。

学生課——旧厚生課室へ

厚生課——旧食物講義室へ

なお、旧学生課室には学生部長室が移転する予
定です。

○給与法の一部を改正する法律等について

このことについては、人事院勧告（学報第31号既報）どおり改正され、次のとおり施行若しくは適用されることとなった。

- 1.俸給表の改定 43. 7. 1 適用
- 2.通勤手当の改定 43. 5. 1 適用
- 3.初任給調整手当の改定（本学職員には適用されない。次号も同じ。） 43. 7. 1 適用

4.宿日直手当の改定 44. 1. 1 施行

5.期末・勤勉手当の改定 44. 4. 1 施行

なお、扶養手当については、扶養親族たる要件の1であるその者の年間所得限度額が、12万8千円（従来11万7千円）に引き上げられたので、該当者がある場合は所定の手続をしてください。

おって、期末・勤勉手当の改正の概要は、次表のとおりです。

期末・勤勉手当改正一覧（現行対比）

1. 期末・勤勉手当支給期別割合

	3 月			6 月			12 月			年 間 計		
	期 末 <small>月分</small>	勤 勉 <small>月分</small>	計 <small>月分</small>	期 末 <small>月分</small>	勤 勉 <small>月分</small>	計 <small>月分</small>	期 末 <small>月分</small>	勤 勉 <small>月分</small>	計 <small>月分</small>	期 末 <small>月分</small>	勤 勉 <small>月分</small>	計 <small>月分</small>
現 行	—	0.5	0.5	1.1	0.3	1.4	2.2	0.3	2.5	3.3	1.1	4.4
改 正	0.5	—	0.5	0.9	0.5	1.4	1.9	0.6	2.5	3.3	1.1	4.4

2. 期末手当の在職期間に応ずる支給割合

		3 月			6 月			12 月		
		在職期間	支給割合	在職期間	支給割合	在職期間	支給割合	在職期間	支給割合	
現 行	在職期間	—			3月～6月未満			3月未満		
	支給割合	—			60 %			30 %		
改 正	在職期間	2月15日 } 3月未満	1月15日 } 2月15日未満	1月15日未満	2月15日 } 3月未満	1月15日 } 2月15日未満	1月15日未満	5 月 } 6月未満	3 月 } 5月未満	3月未満
	支給割合	80 %	60 %	30 %	80 %	60 %	30 %	80 %	60 %	30 %

○職員住所

〔新任者住所〕

〔住所変更〕

○職員の話架設

○電話番号変更

○改 姓

- 皆川 民子（文教育学部教務補佐員）旧姓 山崎
昭和43年10月15日改姓
- 滝澤 美渥子（家政学部助手）旧姓 小田切
昭和43年10月29日改姓
- 今井 愛子（理学部助手）旧姓 水野
昭和43年11月22日改姓
- 真崎 祥子（文教育学部技官）旧姓 荒川
昭和43年11月30日改姓
- 橋本 征子（附属図書館事務官）旧姓 工藤
昭和43年12月7日改姓

訃 報

名誉教授黒田チカ氏には、かねて病氣療養中のところ11月8日逝去されました。享年84才。ここに謹んで哀悼の意を表します。

なお、同氏には、昭和40年秋の生存者叙勲で勲三等宝冠章が授与されておりましたが、このたび生前の功績により従三位に叙せられました。